

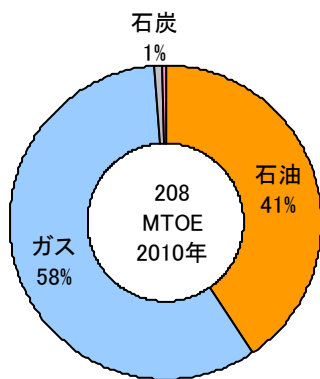
## 4-4 イラン

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 208.4 百万 TOE (日本の 0.45 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 2.82TOE (日本の 0.78 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 168%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub>排出量 (2010年) : 509 百万 CO<sub>2</sub>換算 ton (日本の 44.5%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub>排出量 (2010年) : 6.88 CO<sub>2</sub>換算 ton (日本の 76.7%)
- (6) 燃料別可採年数 (2011年末) : 原油 95.8 年、天然ガス 100 年超、石炭 N/A

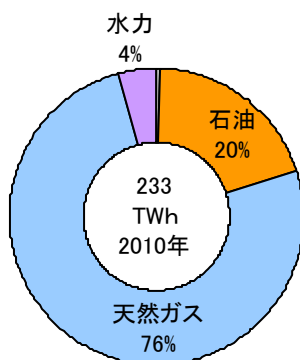
一次エネルギー供給構成 (2010年)



COUNTRY: Iran

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

発電電力量構成 (2010年)



COUNTRY: Iran

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- 最高エネルギー評議会：2001年10月設立。大統領を議長とし、エネルギー資源の国益のための適正利用、石油・天然ガス生産・消費の適正化、環境汚染防止策などエネルギー全般に関わる政策に関する協議、調整、決定を行う。
- 国会石油委員会：大規模石油・天然ガス事業提案や大型合弁投資案件を審議し、必要な立法措置を取る。
- 石油省ほか関係官庁：個々のエネルギー政策を立案、実施する責任と権限を持つ。

### (2) 基本政策

イランのエネルギー政策の中心は、国内に賦存する石油、天然ガスを海外に輸出・販売し、獲得した外貨を基に以下の3点を速やかに実施することにある。

- 老朽油田の改修、ガス圧入、新規探鉱開発による原油生産能力の増強
- 国内石油精製設備の新・増設による国内向け石油製品供給能力の拡充
- 天然ガス生産能力の増強、国内利用の推進による余剰原油の輸出振り向け

### (3) 最近の動向

- 2011年8月3日、イラン議会は、Ahmadinejad 大統領が次期石油相として指名していたイラン革命防衛隊の兵站部司令官である Rostam Qasemi 氏を承認した。Qasemi 氏は1981年に革命防衛隊に入隊してイラン・イラク戦争に参戦、その後1988年の終戦後は、革命防衛隊の兵站部門 Khatam al-Ambya で国土復興に尽力、その後2007年には同部隊の司令官に就任していた。
- 2011年12月に米国でイラン中央銀行制裁条項を含む国防授權法が制定され、2012年1月にはEUが、イラン産原油のボイコットを同年7月1日に開始することを決定した。EUの決定はイラン産原油を運ぶタンカーの提供、あるいは付保を禁じるものであり、これらの対イラン制裁強化を受けて、イランの原油輸出量は大きく減少した。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- (1) イランは我が国にとって第4の原油輸入先（31.3万b/d、シェア8.8%、2011年）だが、ロシア原油の輸入増加および対イラン制裁強化の影響によりその輸入量とシェアはさらに減少傾向にある。
- (2) 2004年2月、国際石油開発(株)とNIOC子会社 Naftiran Intertrade Co. との間で Azadegan 油田開発に係る契約が締結された。しかし、イラン核開発問題を巡る国際的な緊張が高まったこともあり2006年10月に国際石油開発は出資比率を75%から10%へ引き下げ、2010年9月には同案件から撤退することを決定した。

## 2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	208.4	百万 TOE
(2)	1人当り一次エネルギー供給量	2.82	TOE/人
(3)	GDP 当り一次エネルギー供給量	0.91	TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	168	%
(5)	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	509	百万 CO <sub>2</sub> 換算 ton
(6)	1人当りエネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	6.88	CO <sub>2</sub> 換算 ton/人
(7)	一次エネルギー供給構成	石炭	0.7 %
		石油	40.5 %
		ガス	58.4 %
		原子力	0.0 %
		その他	0.4 %
(8)	エネルギーの輸入依存度(純輸入/TPES)	-68	%
(9)	石油の輸入依存度(純輸入/TPES)	-168	%
(10)	輸入原油の中東依存度	-	%
(11)	主な原油輸出先(2011年)	1位	中国
		2位	インド
		3位	日本

(出所) (1)～(4) 及び(7)～(9) は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

(5)～(6) は IEA, CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion, 2012 Edition

(11)はエネ研調べ